

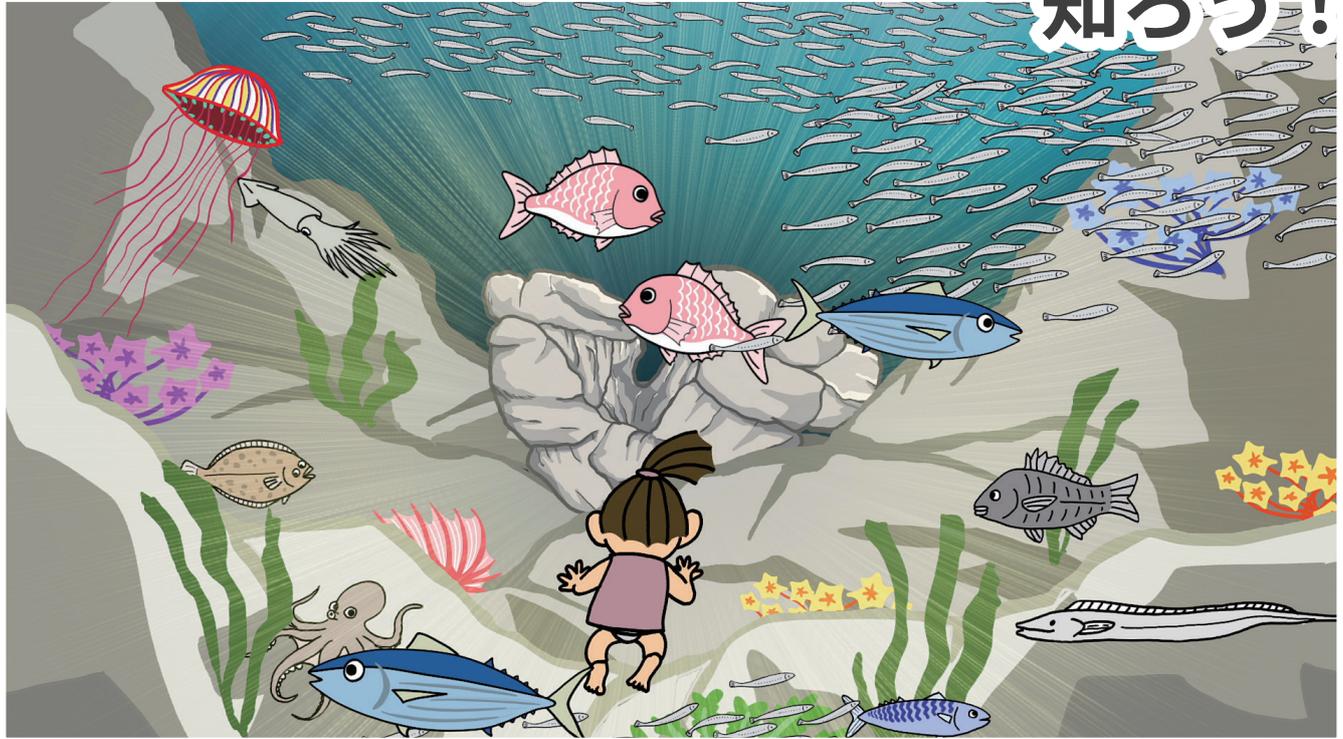
約5分間の動画です。  
ぜひご覧ください▶



受け継がれてきた物語がアニメ作品になった!

春休み特別企画

# 海ノ民話「鯛寄せ石」を知ろう!



あらすじ

昔々、たいそう魚が好きな庄屋さんがいました。ある日、いつも見事な鯛を売りに来る漁師に、「どこでそんなに立派な鯛が獲れるのか」と尋ねました。すると漁師はためらいながらも、「海の底に、鯛が必ず寄ってくる白い石がある」と打ち明けました。それを聞いた庄屋さんは、その石を自分の庭に置きたいと考え、多くの人を集めて海から石を運ばせました。ところが、それ以来、庄屋さんの身には思いがけない災いが次々と降り掛かるようになりました。困り果てた庄屋さんは祈禱師に相談しま

瀬戸内海の燧灘ひろさなだに面する本市には、海にまつわる民話がいくつも語り継がれています。その一つである「鯛寄せ石」が、一般社団法人日本昔ばなし協会の「海ノ民話のまちプロジェクト」によりアニメ化されました。今回の特集では、民話「鯛寄せ石」の内容や、現在へと続く物語の道をたどります。今も大切に受け継がれる民話の世界へ、足を運んでみませんか。



海と深い関わりを持つ日本の「海とのつながり」や「地域の誇り」を子どもたちに伝え、未来へ語り継いでいく日本財団のプロジェクトです。

日本各地に残る海にまつわる民話を発掘し、そこに込められた「思い」、「警鐘」、「教訓」を親しみやすいアニメーションとして制作し、次の世代を担う子どもたちへ伝えています。

した。祈禱師は、海的神さまが怒っているのだと告げ、怒りを鎮める方法として「毎日新しい海の水で石のくぼみを満たし、丁寧に祀るよう」と助言しました。それから庄屋さんは、毎日欠かさず海の水を汲み、石を大切に祀るようになりました。庄屋さんが行き来した道は「汐汲み道」と呼ばれ、時の流れとともに「しようこ道」と呼ばれるようになり、今も残っています。また、鯛寄せ石は庄屋さんの子孫によって三島神社に奉納され、今もこの地に暮らす人々を見守っています。

民話の舞台を  
巡ってみよう



銘菓 汐くみ  
菓匠 たつの屋



**汐** 汲み道にちなんで名付けられた、きんつば風の和菓子です。上皇上皇后両陛下が平成5年に本市をご視察された際に、お求めになっています。  
場 三島宮川3・18・9

**汐汲み道 (しょうこ道)**  
三島宮川～中曽根町



三島宮川から中曽根町(中田井)まで続く、約1.5キロメートルの道です。庄屋さんが海の水を運ぶために通っていたことから、「しおくみみち」と呼ばれるようになり、やがて「しょうこみち」へと変化しました。今も地域で親しまれている道です。



子どもたちに

このアニメをきっかけに、子どもたちが海に関心を持ち、海の恵みや海と共に暮らすに思いを巡らせ、海を大切にしている行動へとつながることを願っています。また、民話への興味を深めることで、子どもたちのシビックプライドの醸成にも寄与できれば嬉しく思います。

伝えたいこと

協力者  
インタビュー



四国中央市 海ノ民話のまち  
実行委員会  
三宅 威さん  
NPO 法人 紙のまち図書館 理事長

民話は、物語を通して地域の特色や教訓を伝え、自然や人との関わりについて考えるきっかけを与えてくれるものです。民話「鯛寄せ石」も、海と人々のつながりや、海の大切さ、海の恵みへの感謝を伝える物語として受け継がれてきました。

今回のアニメ制作では、物語を知らない方にも理解しやすいよう、細かな工夫を重ねています。物語の最後に流れる「海の学び」のナレーションについても、押し付けにならないよう、自然に共感できる表現となるよう心がけました。

このアニメが、私たちにとって身近な海や自然、地域の文化や歴史について考えるきっかけとなり、子どもたちに「海は大切なもの。守り、未来へ引き継いでいこう」と感じていただければ幸いです。

制作者  
インタビュー



海ノ民話のまちプロジェクト  
沼田心之介 監督  
一般社団法人  
日本昔ばなし協会 代表理事

# 民話「鯛寄せ石」探訪MAP



龍宝の湯  
湯あそびひろば三島乃湯



**鯛** 寄せ石の民話を題材にした壁画がある浴室は「龍宝の湯」と呼ばれ、奇数日は男湯、偶数日は女湯として利用されています。  
場 三島中央1・16・5  
(おいしい広場内)

三島神社



鯛寄せの石 (龍宝石)  
三島神社



**余** 木崎の沖合にあったとされる、幅3メートル、高さ1・5メートル、奥行き1・4メートルの巨石です。童宮のように魚が集まっていたことから、「龍宝石」とも呼ばれています。

中央の丸いくぼみは、川の浸食によってできた罅穴です。瀬戸内海が数百万年前は陸地で、大きな河川が流れていたことを示す貴重な痕跡です。  
場 三島宮川1・1・53

# 受け継がれてきた民話が アニメになって次世代へ

## 放課後児童クラブで 「鯛寄せ石」を上映

2026年2月4日 みしま児童センター

### 特別授業で民話の舞台を巡る

みしま児童センターで、海ノ民話アニメーション「鯛寄せ石」の上映会が開かれ、放課後児童クラブの児童ら40人が、アニメを通じて海の大切さを学びました。上映会後には特別授業として、四国中央市海ノ民話のまち実行委員会の案内で、児童たちが鯛寄せ石と汐汲み道を訪れました。児童たちは物語の舞台を歩きながら、民話が時代を超えて伝えてきた教訓への理解を深めました。



## 海ノ民話アニメーション 「鯛寄せ石」完成を報告

2026年2月4日 四国中央市役所

### 本市が「海ノ民話のまち」に認定

沼田監督を始めとする「海ノ民話のまちプロジェクト」の関係者が市役所を訪れ、海ノ民話アニメーション「鯛寄せ石」の完成報告を行いました。併せて、民話「鯛寄せ石」を現在まで語り継いできた本市に対し、沼田監督から「海ノ民話のまち認定証」が贈られました。大西市長は、地域に受け継がれてきた物語が子どもたちに親しみやすい形で、より多くの人に伝わることに期待を寄せました。



問い合わせ先  
総務調整課  
28・6002



番組表は  
こちら▼

3月中は毎週日曜日の  
「コスモスタイム」内  
で放送します！

海ノ民話アニメーション「鯛寄せ石」をケーブルテレビの「コスモスチャンネル」で放送します。ぜひ家族でご覧いただき、地域に受け継がれてきた物語が伝えられたこと、私たちがこれからどうすべきかを、身近な人と話し合いましょ。

家族で見ても話そう！  
アニメ「鯛寄せ石」を  
ケーブルテレビで放送